

アルペン関係者説明会

令和5年11月6日

1 大会運営委員会より

- ・FISルールの変更
- ・FIS、SAJ公認大会
- ・SAA主管大会のエントリー
- ・マテリアル

2 強化委員会より

- ・強化指定選手の選考
- ・ジュニアオリンピック

- ・国スポ出場者のアンチドーピング研修
- ・SAJ、FIS公認大会のエントリー
- ・代表選手の選考

3 マスターズ委員会より

- ・全日本マスターズの日程
- ・全日本マスターズの選手選考

4 その他

- ・SAJ関係報告

♪昨年との変更点

- ★大会運営委員会より
 - ・FISルール「SLスイッチバックの禁止」等について
- ★強化委員会より
 - ・強化指定選手の選考について
 - ・ジュニアオリンピックについて
 - ・国スポ出場者のアンチドーピング研修について
- ★マスターズ委員会より
 - ・全日本マスターズ大会について

1 大会運営委員会より

(1) FISルール「SLスイッチバックの禁止」について
SAJのサイトにて下記3点のルール変更が発表された

- ①スラロームにおける完全停止後の滑走が一切禁止
- ②ディレイゲートのゲート間距離は0.75m以上
- ③スピードイベントでのエアバッグの使用

うち、①について、
23/24シーズンは、SAJにおいては適用しない


1 大会運営委員会より

(2) FIS・SAJ公認大会の主催について
今シーズン、FISおよびB級公認大会は、会場と日程の調整ができず、主催を断念

♪下記は開催

【B級(MAS)】
1/13,14それぞれGS1本レース

【B級(YH)】
3/2 GS, 3/3 SL(かもしがコース)



1 大会運営委員会より

(3) SAA主管大会(愛知ユースを除く)のエントリー
各選手のエントリー

デジエントリーにて手続き

※エントリー費の振り込みを確実に!

<デジサーフエントリー担当>
随時**エントリーリスト**が掲載される

※エントリーできたかどうか各自で確認してください!

<大会当日>
追加エントリー等は認めない

事前のチェックをお願いします

マテリアルについて

使用可能スキー早見表(数値は最小値とする。)

種目	性別	数値	FIS Level3以上	FIS Level2以下 SAJ(除ユース)	SAJ(ユース)	
					K2(FIS U16同等) SAJ特別ルール	K1(FIS U14同等) SAJ特別ルール
DH	女子	長さ	210cm	205cm	-	-
		テイクオフ	50m	50m	-	-
	男子	長さ	218cm	213cm	-	-
		テイクオフ	50m	50m	-	-
SG	女子	長さ	205cm	200cm	183cm	175cm
		テイクオフ	40m	40m	30m	27m
	男子	長さ	210cm	205cm	183cm	175cm
		テイクオフ	45m	45m	30m	27m
GS	女子	長さ	188cm	183cm	188cm以下	188cm以下
		テイクオフ	30m	30m	17m	17m
	男子	長さ	193cm	188cm	188cm以下	188cm以下
		テイクオフ	30m	30m	17m	17m
SL	女子	長さ	155cm	155cm	130cm	130cm
	男子	長さ	160cm	165cm*	130cm	130cm

*1. U18 1年目のみ、+10cmの許容差を認める。
*スキー一長はスキー一板に搭載されている数値で判断する。
*DPS(エアサビ)はバックカントリー(フリー)は上掲の数値を参考にすること。

マテリアルについて

2. ビンディングについて
プレート類を取り付ける際、スキー滑走面からブーツソールまでの高さは最大50mmとする。
3. スキー靴について
ブーツソールから踵の下まで、すべての部品を含めた厚みは最大43mmとする。
U14とU16においてはスキーの高さとブーツの厚みを同じにすることを推奨する。
4. レーシングスーツについて
SLを除くすべてのFISおよびSAJレースで使用されるレーシングスーツは、FIS規定の空気透過率基準をクリアしなければならない。
※SAJ特別規定
K2公認大会においては、FIS規定レーシングスーツの着用を免除する。
2021/2022シーズンより、K2公認大会を除くすべてのSAJ公認大会において、FISラベルのあるレーシングスーツを着用すること。

マテリアルについて

5. ヘルメットについて
全てのFISおよびSAJ公認大会では、新規格対応表示 (FIS ステッカー[RH2013]) が明示されているヘルメットの着用を義務とし、DH、SG、GS競技に適用される。メーカー公式付属品以外の装着は禁止とする。
SLでは、ヘルメットの耳部分のソフトパッドの使用を認めるが、EN1077またはASTM2040認証が必須である。
※SAJ特別規定
SLのFIS規定については推奨とする。
ナショナルエンブレムの貼付はナショナルチーム及び日本代表チームとして海外で競技に参加する場合は必須とする。ただしナショナルエンブレムを貼付せず、ヘッドスポンサーステッカーを貼付する場合は、前面におおよそ高さ5cmのスペースを空けること。
6. バックプロテクターについて
U16以下はバックプロテクターの使用を推奨する。

マテリアルについて

○愛知県スキー連盟としての対応

- ◆FISまたはSAJの公認大会⇒SAJ競技ルールを遵守
※本大会で指導を受けた場合は、ペナルティを課せられる。
- ◆中部日本大会⇒国体カテゴリ以外は推奨






FEDERATION INTERNATIONALE DE SKI
INTERNATIONAL SKI FEDERATION
INTERNATIONALER SKI VERBAND

マテリアルについて

■ヘルメットについて
マスターズも含め、RH2013表示のあるヘルメットが義務

★愛知県スキー連盟の主催する各大会
⇒新規格のヘルメット着用していなければスタートさせない
※フェスティバル以外の大会では義務。
(販売サイズがない可能性から、小学生は除くが、ソフトヘルメットは禁止)





2 強化委員会より

(1)SAA強化指定選手の選考について

♪県スポ協の強化費は国体・ジュニア育成名目のため、**国体で貢献できる選手を育成することを目的**に改正

- ① 選考時期を新年度登録完了後に
⇒移籍による転出・転入を考慮
- ② FISポイント、SAJポイントを選考基準に
⇒愛知県連による公認大会主催を考慮
- ③ 全国大会での結果を選考基準に
⇒愛知県連への貢献度を考慮



2 強化委員会より

(2)ジュニアオリンピックについて

種目および日程の変更。会場は引き続き菅平高原。

K2 : GS・SLの2種目とする。(PGSは行わない)
3月23日(土)TCM 24日(日)GS 25日(月)SL

K1 : GS・SLの2種目とする。(PGSは行わない)
3月25日(月)TCM 26日(火)GS 27日(水)SL

※K1のSLについては、総ターンの70%をショートポール(ゴム製)とする。ただし、コンビネーションは同一ポールとする。

2 強化委員会より

(3) 国スポ出場者のアンチドーピング研修の受講について

- 国スポ本選出場選手および少年選手保護者、監督、ドクター、トレーナーの、アンチドーピング研修受講が必須。
- 県スポ協は11月20日(月)20時～オンラインにて開催(県連締め切りは7日)
- 上記受講できない場合、他団体主催の講義でも代替可能。または、JSPO、JADAの教材閲覧でも可能。ただし、受講のために団体コードや個人情報の登録が必要。

2 強化委員会より

(4) FIS・SAJ公認大会(含YH公認大会)のエントリーについて

- ◎ FIS公認大会
SAA会員登録・SAJ会員登録・SAJ競技者登録・FIS競技者登録が必須
- ◎ SAJ公認大会(YHを含む)
SAA会員登録・SAJ会員登録・SAJ競技者登録が必須
- ◎ SAJ(MAS)公認大会
SAA会員登録・SAJ会員登録・SAJ(MAS)競技者登録が必須

※ FISおよびSAJの大会をご検討いただく際には、東海北陸ブロックの大会を優先にご検討いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

FIS・SAJ公認大会(含YH公認大会)のエントリー

所定のエントリーフォームに入力(記入)し、メールで送付宛先 fis.saj.entry@ski.aichi.jp

件名【(FIS・B級・ユース)】【大会名】【参加者名】

本文【所属団体名・エントリー責任者名】

添付書類 愛知県スキー連盟のHPよりワードデータ

【FIS・B級・K1・K2】【大会名】【参加者名】.docx

県連締切に遅れた場合は手数料2000円申し受けます

FIS公認大会・SAJ公認大会出場の流れ

<TCM等について>

(1) 選手、保護者、コーチの中から、愛知県のチームキャプテンを任命。

①アテンダンスリストの記入 ②ボードコントロール ③TCMへの出席と各選手への内容伝達
④ピブの受け取りと県内選手への配付 ⑤その他(場合により旗門員等大会役員)

(2) 愛知のチームキャプテンが誰になったかは、メール掲載のエントリーリストで確認。

(3) チームキャプテンを引き受けることができない場合は、必ずエントリーの際に連絡。

(4) 出場選手は必ずチームキャプテンと連絡をとり、ドロップやピブの受け取り等の処理を依頼。

FIS公認大会・SAJ公認大会出場の流れ

<出場について>

大会に出場出来ない場合は必ず連絡。

TCM3日前まで…県連事務局、**愛知県チームキャプテン**および担当者

TCM前日・当日…当該レースの大会事務局、**愛知県チームキャプテン**および担当者

☆担当者

FIS、SAJ(B級(YH除く)) 加藤 宏

SAJ(B級(YH)) 福島 秀幸

2 強化委員会より

(5) 代表選手選考について

★マテリアルルール★

■予選会⇒原則としてSAJ競技ルールに従う

SAJ競技ルール通りのマテリアルでない選手は、上位大会への選考はしない。(ポイントは付ける)

※ヘルメットは必須



上位大会選考基準

A級公認大会

★予選会の順位で現地予備選考後、選考委員会で決定★

○国民体育大会

<以下の枠は例> ※アルペン・ノルディック合わせて36名
成年男子A3 成年男子B3 成年男子C3 少年男子5
成年女子A2 成年女子B1 少年女子4

○全国高校総体

昨年度は男子4、女子8

○高校選抜・全日本選手権(ポイントで選考)

男子1、女子1

(個人資格者がいる場合は県枠はない)



上位大会選考基準

ユース大会

○全国中学⇒予選会の順位で現地予備選考後、選考委員会で決定

今年度は男子GS4SL4、女子GS4SL4 ※前年度成績で増減

○全日本ジュニアスキー大会高速系(旭川)

通常のSAJ公認大会(エントリーオーバーの場合は、大会要項記載の通り)

○JOCジュニアオリンピックカップ

<K1> 男子1、女子1の見込み

<K2> ブロック枠のためのため、ブロック予選の上位

※登録者数に比例して増減。旭川SGが終了したところで枠が確定

K1、K2とも愛知ユーススキー大会で選考

K1も、K2(ブロック)の選考方法と同様とします。

ブロックの選考方法が確定次第、ウェブサイトで情報公開します。



上位大会選考基準

中部日本大会

○予選会の順位で現地予備選考後、選考委員会で決定

1/27(土) 中学男女とも15 少年男子6少年女子5

1/28(日) 男子 成年A6B5C5D5E5F3

女子 成年A4B4C4



※各クラス1戦のみの開催。これにともない、宿泊斡旋は希望者のみ
⇒TCM内容伝達についてはメールやSNS、ウェブサイト等を活用
ビブの配布は当日朝現地にて

※選考された選手のエントリーはgoogleフォームにて、エントリー料は
県連指定の口座へ

上位大会選考

雪不足時の対応について

○最初のTCMの1週間前(12/28)までに、

ウェブレーシングオフィスでアナウンスします。

※現時点では、他の会場は検討していません。ほおのき平スキー場内、ケレンデの
変更、時間帯の変更など、可能な限りの対応をお願いする予定です。

3 マスターズ委員会より

(1)全日本A級マスターズスキー大会について

2月26日(月) 27日(火) 事前練習会

28日(水) 公式練習 TCM(A・C)

29日(木) C・A 第1戦 TCM(B)

3月1日(金) B 第1戦

2日(土) C・A 第2戦

3日(日) B 第2戦



全日本A級マスターズスキー大会選手選考

★注意★

SAJマスターズ競技者登録を完了していないと次に進めません

※2024/1/4発表のポイントリストまたは待機者リストに入っていること。

全日本A級マスターズスキー大会選手選考

(1) 参加意志のあるクラブから、

・代表連絡先メール

・参加希望選手の

氏名

生年月日

SAJマスターズ競技者番号

を、任意の書式(今年のエクセルを活用していただいてもOKです)でメール連絡

aichi.masters.ski.2022@gmail.cominfo@ski.aichi.jp

締切

R6.1.12(金)

※愛知B級マスターズの前日です。是非こちらにもご参加ください。

全日本A級マスターズスキー大会選手選考

(2) (1)で参加意思を示した人の中から上位を選考

- ① SAJポイントリストNo.3(R6.1.4発行予定)による選考
- ② SAJノーポイントの選手はSAAポイント順に選考
- ③ SAAもノーポイントの選手は年齢の高い順に選考

全日本A級マスターズスキー大会選手選考

(3) 選考結果を代表連絡先にメール(1/15の予定)

⇒エントリーデータをメールで提出&県連宛入金
(クラブ)

※入金締切は1/22(月)の予定。全日本締切日により変更があった場合は、別途連絡します。未入金、キャンセルはエントリーリストから削除します。

SAJ関係 報告

1 大会運営委員会報告

(1) マテリアルコントロールはIHと国スポで実施

※NC、FECでは実施しない

(2) 2月中旬に手稲でパラアルペン実施

(3) NCで公式用品を使用することが義務に

※詳細はSAJライブラリーで確認



SAJ関係 報告

2 組織運営委員会報告

(1) 全日本マスターズ事前キャンプ開催

(2) 資格休止申請は現在2名



図8 アルペールピルオリンピックでの山本さち子選手



SAJ関係 報告

3 強化委員会報告

(1) NJC出場資格変更

○U21以上は最大5名まで(140名に満たない場合も)

(2) K2の公認大会出場上限12

○ジュニオリ予選は含めない



S A J 関係 報告

4 資格委員会報告

- (1)セッター検定
北海道⇒**関東**⇒東北⇒甲信越⇒北海道 の輪番
- (2)JSPO公認コーチ
今年度より「**コーチ2**」検定会開催。15名参加。



S A J 関係 報告

5 マスターズ委員会報告

- (1)全日本4日間開催
- (2)FISマスターズルールの日本語版は12月1日発出予定



東海北陸ブロックコーチ会議 報告

○ブロック内合宿予定

- ①全中前合宿
1月22日(月)～23日(火)
野沢温泉カンダハー
- ②国体前合宿
2月15日(木)～18日(日)
山形赤倉
- ③ジュニオリ前合宿
3月13日(水)～15日(金)
菅平高原パインビーク

